

# 【西区】令和8年第1回区づくり推進横浜市議員会議

令和8年2月6日(金) 15時30分開始  
西区役所3B会議室

## 次 第

1 開 会

2 座長の選出

3 議 題

(1) 令和8年度 西区編成予算(案)

(2) 令和8年度 西区編成予算(案) 主要事業

ア 「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画)の推進

イ 高齢者あんしん生活サポート事業

ウ 障害のある人も住みやすいまちづくり事業

エ 子育て支援の推進

オ 地域連携推進・回遊性向上事業

カ 商店街及び「まち」のにぎわい創出事業

キ スポーツ振興事業

ク 藤と季節の花がつなぐまちづくり事業

ケ 西区 みんなでエコアクション! 推進事業

コ 地域防災活動推進事業

サ 安心して暮らせるまちづくり推進事業

(3) GREEN×EXPO 2027に向けた横浜駅周辺での美化・環境向上の取組

【参考】西区における開発動向等

4 会議報告書の作成

5 閉 会

### 3-(1) 令和8年度 西区編成予算（案）

#### 【基本的な考え方】

～ つながりを大切に 誰もがにこやかしあわせにくらせるまち 西区へ ～

西区の基本目標である「つながりを大切に 誰もがにこやかしあわせにくらせるまち」の実現に向け、あらゆる世代の皆さまへのサービス向上に向けて各事業を展開します。

「にこまちプラン」第5期計画を着実に推進するとともに、子育て支援や認知症・障害への理解促進など、誰もがいきいきと暮らせるインクルーシブな社会の実現に取り組みます。おおむね20年後の西区を見据えた中長期にわたる方向性をまとめる都市計画マスタープラン西区プランの改定に向け、検討を進めていきます。

持続可能で環境に配慮したライフスタイルへの啓発を行うとともに、脱炭素社会の実現に向けた姿を世界に発信するGREEN×EXPO 2027の開催に向けた機運を醸成します。また、玄関口となる横浜駅とその周辺の美化・環境向上などに取り組みます。

自然災害に備えた防災・減災の取り組みや、警察とも連携した安全安心な街づくりを目指した防犯対策、こどもから高齢者まであらゆる世代の健康づくり、妊娠期から学齢期にかけて切れ目のない子育て支援を行います。

- 地域のつながりづくり
- いきいきと健やかに暮らせるまちづくり
- まちの回遊性向上とにぎわいづくり
- 安全・安心なまちづくり
- 親しみやすい区役所づくり

## 1 区分別総括表

(単位:千円)

	8年度予算額	7年度予算額	差引
自主企画事業費	100,749	100,598	151
統合事務事業費	33,729	35,356	▲ 1,627
統合事務費	18,486	20,176	▲ 1,690
統合事業費	15,243	15,180	63
区庁舎・区民利用施設管理費	496,574	485,088	11,486
合計	631,052	621,042	10,010

## 2 内 訳

### (1) 自主企画事業費

(単位:千円)

区 分	8年度予算額	7年度予算額	差引	主な事業
地域のつながりづくり	10,854	11,605	▲ 751	・「にこやかしあわせくらしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画)の推進
いきいきと健やかに暮らせるまちづくり	19,250	18,266	984	・西区子育て支援事業 ・高齢者あんしん生活サポート事業 ・障害のある人も住みやすいまちづくり推進事業
まちの回遊性向上とにぎわいづくり	37,941	33,382	4,559	・地域連携推進・回遊性向上事業 ・商店街及び「まち」のにぎわい創出事業 ・藤と季節の花がつなぐまちづくり事業
安全・安心なまちづくり	23,375	28,971	▲ 5,596	・地域防災活動推進事業 ・安心して暮らせるまちづくり推進事業 ・西区 みんなでエコアクション！推進事業
親しみやすい区役所づくり	9,329	8,374	955	・サービス改善推進事業 ・区庁舎・区民利用施設環境整備事業
合計	100,749	100,598	151	〈25事業〉

## (2) 統合事務事業費

(単位:千円)

区 分	8年度予算額	7年度予算額	差 引	概 要
統合事務費	18,486	20,176	▲ 1,690	各課で事務・運営を行っていくために必要な事務費を適正に執行します。
統合事業費	15,243	15,180	63	
広報よこはま西区版発行事業・区民相談事業	9,691	9,587	104	「広報よこはま西区版」の発行を通じて、区民に区の事業及び地域の情報を提供します。また、区民からの要望・提案等広聴の総合的な窓口となり、区民に身近な区の運営に生かします。さらに、区民が生活する上で生じる様々な相談に応じます。
クリーンタウン横浜事業	589	594	▲ 5	横浜市一般廃棄物処理基本計画に基づく、ごみの資源化・減量化啓発事業の実施や地域清掃の支援により、地域におけるごみの減量・3R意識の向上と地域美化の進展を目指します。
緊急時情報システム運用事業	604	604	0	発災時に地域住民等に対し電話で緊急情報を伝達する手段である緊急時情報システムを運用します。
スポーツ推進委員事業	1,300	2,305	▲ 1,005	スポーツ推進委員による地域スポーツ活動の推進により、区民の健康増進、体育振興を図ります。
青少年指導員事業	2,165	1,195	970	青少年の健全育成を目的とする青少年指導員協議会の活動の支援を行います。
学校・家庭・地域連携事業	720	720	0	中学校区等で組織されている学校・家庭・地域連携事業推進協議会への活動費助成を行います。
健康づくり月間事業	174	175	▲ 1	関係団体による区民に対する情報発信・啓発活動等により、保健・衛生に関する知識の普及、地域に根差した自発的な活動の推進及び区民の健康増進を図ります。
合 計	33,729	35,356	▲ 1,627	

## (3) 区庁舎・区民利用施設管理費

(単位:千円)

区 分	8年度予算額	7年度予算額	差 引	主な施設等
区庁舎管理費	98,325	97,654	671	
区庁舎	58,900	58,607	293	西区役所
行政サービスコーナー	7,003	7,020	▲ 17	横浜駅行政サービスコーナー
区版市民活動支援センター	20,533	20,534	▲ 1	にしく市民活動支援センター
土木事務所	10,192	9,779	413	西土木事務所
区庁舎修繕費	1,697	1,714	▲ 17	
区民利用施設管理費	398,249	387,434	10,815	
公会堂	39,880	38,471	1,409	西公会堂
地区センター	91,460	87,942	3,518	西、藤棚地区センター
集会所	12,003	11,509	494	平沼集会所
ログハウス	9,921	9,446	475	境之谷公園こどもログハウス
老人福祉センター	61,166	58,899	2,267	野毛山荘
コミュニティハウス(条例型)	40,641	39,212	1,429	浅間、戸部コミュニティハウス
コミュニティハウス(学校施設活用型)	38,650	38,037	613	西前小、稲荷台小、東小、軽井沢コミュニティハウス
スポーツセンター	103,531	102,912	619	西スポーツセンター
広場・遊び場	234	236	▲ 2	西平沼こどもの遊び場等
区民利用施設修繕費	763	770	▲ 7	
合 計	496,574	485,088	11,486	

## 令和8年度 個性ある区づくり推進費(自主企画事業)施策体系別一覧

※新規・拡充について

新規：前年度事業がない新規の事業、あるいは細事業に新規事業がある事業

拡充：事業費の増減にかかわらず、事業対象範囲等を拡大した事業

### 1 地域のつながりづくり

(単位：千円)

番号	新規 拡充	事業名	R8年度 事業費	R7年度 事業費	事業費 増▲減
1		地域活動事業	2,793	2,708	85
2	拡充	西区「学び・つながり」支援事業	2,358	1,577	781
3		西区ふれあい福祉推進事業	2,859	2,924	▲65
4	拡充	「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」 (西区地域福祉保健計画)の推進	2,844	4,396	▲1,552
小 計			10,854	11,605	▲751

### 2 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

(単位：千円)

番号	新規 拡充	事業名	R8年度 事業費	R7年度 事業費	事業費 増▲減
1	拡充	読書活動推進事業	1,719	1,569	150
2	拡充	地域の力を生かしたスクールサポート事業	1,590	1,575	15
3	拡充	西区子育て支援事業	4,714	4,532	182
4		西区の保育施設つながり事業	700	700	0
5	拡充	健康づくり応援事業	3,061	2,672	389
6		高齢者あんしん生活サポート事業	2,923	2,864	59
7		障害のある人も住みやすいまちづくり事業	4,543	4,354	189
小 計			19,250	18,266	984

### 3 まちの回遊性向上とにぎわいづくり

(単位：千円)

番号	新規 拡充	事業名	R8年度 事業費	R7年度 事業費	事業費 増▲減
1		広報充実事業	2,948	2,318	630
2	拡充	地域連携推進・回遊性向上事業	8,827	7,146	1,681
3		商店街及び「まち」のにぎわい創出事業	2,815	2,910	▲95
4	拡充	藤と季節の花がたなぐまちづくり事業	5,800	5,000	800
5		西区民まつり事業	6,200	6,007	193
6	拡充	ふるさと西区魅力発信事業	6,512	5,162	1,350
7		地域文化振興事業	500	500	0
8		スポーツ振興事業	4,339	4,339	0
小 計			37,941	33,382	4,559

#### 4 安全・安心なまちづくり

(単位:千円)

番号	新規 拡充	事業名	R8年度 事業費	R7年度 事業費	事業費 増▲減
1	拡充	西区 みんなでエコアクション！推進事業	4,499	3,851	648
2	拡充	地域防災活動推進事業	13,035	20,285	▲7,250
3	拡充	安心して暮らせるまちづくり推進事業	4,611	600	4,011
	統合	交通安全事業	0	2,895	▲2,895
4		食中毒・感染症予防対策事業	1,230	1,340	▲110
小 計			23,375	28,971	▲5,596

#### 5 親しみやすい区役所づくり

(単位:千円)

番号	新規 拡充	事業名	R8年度 事業費	R7年度 事業費	事業費 増▲減
1		区庁舎・区民利用施設環境整備事業	5,852	5,597	255
2		サービス改善推進事業	3,477	2,777	700
小 計			9,329	8,374	955
合 計			100,749	100,598	151

### 3-(2) 令和8年度 西区編成予算(案)主要事業

## 地域のつながりづくり

ア 「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画)の推進 (福祉保健課)  
【予算額 2,844千円(対前年度比 1,552千円減)】

西区では、「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画、愛称：にこまちプラン)を西区の総合的な計画と位置づけ、区役所全体で取り組むとともに、地域の様々な活動を支援することで、住民同士の「顔の見える関係づくり」や、地域課題の解決に住民が取り組む機運を高めることを目指しています。

令和8年度は、第5期計画(令和8～12年度)がスタートします。計画策定で育まれたつながりや機運を活かし、5年後に目指す姿を見据え、地域や関係機関と一体となって、計画を力強く推進します。また、第5期にこまちプランを区民の皆様に広く知っていただくため、積極的な情報発信・プロモーションを行い、認知度向上を図ります。

#### (1) 「にこまちプラン」の推進等(2,844千円)【拡充】

##### ① 「第5期にこまちプラン(西区地域福祉保健計画)」 の推進

「区全体計画」については、引き続き区役所一丸となって推進し、課横断的な課題にもチームで取り組みます。また、福祉保健分野に精通したアドバイザーの助言のほか、各分野の代表者で構成された「推進評価委員会」での意見等を踏まえ推進していきます。

「地区別計画」についても、みなとみらい地区を含め全7地区でスタートを切ります。地域における様々な課題の解決に向けて、引き続き、区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザによる地区支援チームが連携し、地域の取組を支援していきます。

■参考：第29回 西区地域福祉保健計画推進・評価委員会  
【開催日】令和8年1月16日  
【会場】西区役所3階A B会議室  
【内容】第5期西区地域福祉保健計画(にこまちプラン)  
区全体計画の確定(意見交換)等



推進評価委員会



地区別計画の検討

## ② 「第5期にこまちプラン（西区地域福祉保健計画）」 の広報・啓発

広報よこはまの特集やオリジナルノートなどの啓発ノベルティの配布に加え、スタートの勢いを加速させるため、新規PR動画を制作し、積極的に発信して「にこまちプラン」の認知度を高めます。

また、「にこまちプラン」の普及啓発、地域活動の情報共有などを目的として「にこまちフォーラム」を開催し、地区別計画やこどもたちの取組発表などを通じて活動の充実につなげます。このほか、地域活動のヒントとなる実践的な題材を取り入れ、担い手の意欲を高める「にこまち講座」を開催します。

加えて、小・中学校への出前講座を実施するなど、引き続き「こども向け啓発」を進め、こどもたちやその親世代（現役世代）の参加意識を醸成し、新たな担い手の発掘・育成につなげます。

### ■参考：令和7年度「にこまちフォーラム」（予定）

【開催日】 令和8年2月21日

【会場】 西公会堂

【内容】

第1部 第5期にこまちプラン発表

- ・第4期計画の成果
- ・第5期区全体計画
- ・第5期地区別計画（全7地区）

第2部 こどもたちの取組発表

宮谷小学校、戸部小学校から計4クラスの発表



令和6年度「にこまちフォーラム」



こども向け啓発（小学校出前講座）



オリジナル啓発ノベルティ  
ノート・ハンドタオル（令和7年度）

# いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

## イ 高齢者あんしん生活サポート事業

(高齢・障害支援課)

【予算額 2,923千円(対前年度比 59千円増)】

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう、「横浜型地域包括ケアシステム構築に向けた西区アクションプラン」に基づき、「地域包括ケアシステム推進事業」「認知症等高齢者支援事業」「健康づくり・介護予防事業」の取組を推進します。

### (1) 地域包括ケアシステム推進事業(991千円)

#### ① 啓発キャンペーンの実施

期間を定め、「在宅医療・介護連携」「生活支援・社会参加の充実」「介護予防」「認知症対策」の推進に関する関係機関や区役所等の取組を一体的にPRするとともに、パネル展を通して、地域包括ケアシステムを広く周知します。また、オンラインツール等を活用した広報により、関心が希薄な方々へPRしていきます。

#### ② 地域ケア会議の充実

地域包括ケアシステムの構築に向けた区レベル・地域包括支援センターレベル会議の充実を図るため、地域課題の抽出から課題解決につなげるためのアドバイザー派遣や、有識者の講師を招聘します。

### (2) 認知症等高齢者支援事業(1,054千円)

#### ① 軽度認知障害（MCI）・認知症の理解、早期対応の機会づくりの促進

認知症の理解と早期対応の機運を高めるため、区民が気軽に脳の健康チェックができる機会をつくとともに、予防につながる活動を推進し、必要な方にはもの忘れ検診等の支援につなげます（通年）。

軽度認知障害と診断された方に対し、認知症予防のポイントと予防につながる活動ができる地域の居場所について紹介したリーフレットを、地域包括支援センターや医療機関等の関係機関と連携し、配布します。（通年）また、軽度認知障害や認知症初期と診断された方の診断後支援の一環として、重症化予防に効果がある運動に取り組める機会づくりを行うとともに（6月～）、運動に関する動画を作成し（9月）、診断された方の支援に活かします。

#### ② 認知症サポーター養成講座・普及啓発人材育成研修の実施（健康福祉局 区配事業含む）

認知症に優しいまちづくりを進めるため、引き続き、地域住民、学校や企業等の要請に応じ、認知症サポーター養成講座を実施します。（通年）

また、認知症キャラバン・メイト（登録者数196名）等に向けて人材育成研修を交流会と合わせて実施し、地域における自主的活動につながるよう支援します。（6月、2月予定）

### (3) 健康づくり・介護予防事業(878千円)

#### ① 「ころばんよ体操」を活用した健康づくり

4つの効果(ロコモティブシンドローム・メタボリックシンドローム・認知症予防、オーラルフレイル予防)がある西区のご当地体操「ころばんよ体操～パタカラバージョン～」と、後期高齢者や障害者でも取り組みやすい「ころばんよ体操～Part 2～」を活用し、区民の健康づくりや地域における自主的な活動の活性化に努めます。(通年)



ころばんよ体操  
～パタカラバージョン～

#### ② 介護予防普及啓発の実施

(健康福祉局 区配事業含む)

西区の健康課題であるフレイル予防の重要性を啓発するため、フレイル予防と認知症予防のための運動(筋力トレーニング)をテーマとし、総合能力研究所の健康運動指導士による講演会を開催します。(6月12日予定)。

地域における介護予防活動のリーダーとなる「げんき活動応援団」(登録者数23名)や地域の通いの場の参加者等を対象としたスキルアップ研修を開催(全4回コース)し、地域におけるフレイル予防活動の充実を図ります。



令和7年度介護予防講演会の様子

#### ■参考：令和7年度 介護予防講演会

「長寿の秘訣はお口にあり!? 食べるチカラを守る習慣」

【講師】平野 浩彦 氏 (東京都健康長寿医療センター歯科口腔外科部長<歯科医師>)

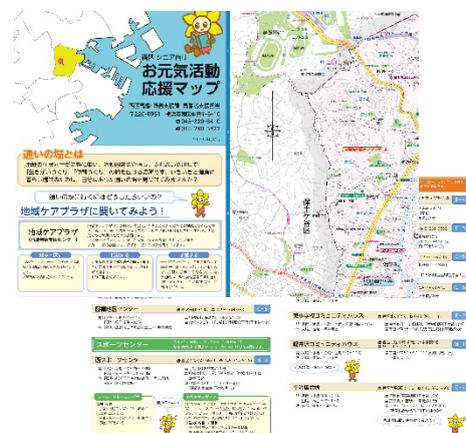
本川 佳子 氏 (東京都健康長寿医療センター研究所研究員<管理栄養士>)

【開催日】令和7年5月30日 西公会堂 ホール

【対象者】西区在住・在勤の方 【参加者】150名

#### ③ 介護予防リーフレットの配布

地域における介護予防に関する自主的活動の場や健康づくりの取組等を紹介するリーフレットを配布し、地域における介護予防等を促進します。(通年)



「西区お元気活動応援マップ」

西区内の介護予防に関する取組の紹介

## ウ 障害のある人も住みやすいまちづくり事業

(高齢・障害支援課)

【予算額4,543千円(対前年度比 189千円増)】

障害のある人が住み慣れた地域で安心して生活できるように、障害に対する理解を深める啓発活動や、電源を要する医療的ケアが必要な在宅障害児・者等への災害対策、障害者が自ら望む生活の選択や居住確保に向けた支援をしながら、障害のある人も住みやすいまちづくりを目指します。

### (1) 障害のある人に対する理解を深めるための啓発・PR事業(3,457千円)

イベントや広報印刷物等、様々な機会を通じて啓発活動を行っていきます。

#### ① 地域防災拠点訓練での啓発

地域防災拠点訓練等の参加者に、障害者が避難してきた際の配慮等について、ミニ講座などで啓発していきます。(3か所程度)

■参考：令和7年度地域防災拠点訓練等での障害啓発

【実施日・場所】9月7日 西前小学校 参加者：178名

9月7日 老松中学校 参加者：58名



令和7年度地域防災拠点訓練

#### ② 障害理解促進のためのイベント企画

障害者施設の利用者等が制作した作品の展示や事業所製品の販売を、区内障害者施設等で行います。

障害者地域活動支援センターが障害者と地域住民等との日常的なふれあいの場となるよう相互に協力するとともに、適正な運営支援を行います。(通年)

地域活動ホーム等の関係機関と連携して、障害のある方と地域住民とがつながりをもてるイベントやPRを実施していきます。(通年)

■参考：令和7年度西区ふれあい作品展

【実施日】令和8年1月9日(金)～1月15日(木)

【場所】神奈川大学みなとみらいキャンパス・café アニミ

■参考：令和7年度西区防災フェスタ

【実施日】令和8年3月20日(金・祝)

【場所】生活創造空間にし



令和7年度西区ふれあい作品展

(神奈川大学みなとみらいキャンパス  
エントランスホール)



令和6年度西区防災フェスタ

#### ③ 地域住民への啓発

障害理解を深める啓発活動として、障害者施設紹介リーフレット「西区style」をあらゆる機会をとらえて配布します。(通年)



障害施設紹介リーフレット「西区 Style」

## (2) 電源を要する医療的ケアが必要な在宅障害児・者等への災害対策(517千円)

人工呼吸器や吸引器などの電源を要する医療機器を日常的に使用している方が災害時に向けた備えを進められるよう支援を行います。

### ① 災害時個別支援計画(「わたしの災害対策ファイル」)の作成支援

災害時を想定し日頃からの備えとして、行動手順や医療情報をまとめた「わたしの災害対策ファイル」を区内訪問看護ステーションと連携し、対象者への配付と計画の作成支援を行います。(通年)



わたしの災害対策ファイル

### ② 福祉避難所と連携したガス式発電機稼働訓練の実施

長時間に渡る停電時に備え、臨時的に充電ができる場所として、区内の福祉避難所6カ所に発電機を設置しています。発災時に速やかに対応できるよう、福祉避難所で機器点検・稼働訓練を実施します。(通年、6か所)

### ③ 地域防災拠点(指定避難所)への対応

電源を要する医療機器を使用している方が災害時に充電できるように、令和5年度から地域防災拠点に発電機を配付して医療用充電ステーションとして整備しています。12か所の地域防災拠点のうち年間3ヶ所ずつ配付しており、令和8年度末には12拠点への配付を完了する予定です。



医療用充電ステーション用発電機

■参考:医療用充電ステーション用発電機配付済み地域防災拠点(令和8年3月末)

一本松小学校、軽井沢中学校、老松中学校、戸部小学校、  
稲荷台小学校、浅間台小学校、西前小学校、宮谷小学校、  
平沼小学校

## (3) 障害者の地域生活支援事業(569千円)

障害者に対する地域生活支援の検討にあたり、必要とされるニーズの把握及び、障害者が地域の中で安心した生活を送るための企画・検討を行います。(通年)

また、障害者の地域移行や一人暮らしを円滑に進めるため、区内で一人暮らし体験ができる施設や体験事業を紹介するリーフレット「じぶんらしく、にしく」

(令和5年度作成)を障害当事者やその家族、支援機関等に広く配布し理解を促進します。(通年)

区内障害者通所施設利用案内冊子「にしナビ」を改訂し障害当事者及び家族の相談に配付します。基幹相談センター、生活支援センターでの活用も進めます。(通年)



障害者通所施設利用案内「にしナビ」

## エ 子育て支援の推進

(こども家庭支援課)

(西区子育て支援事業、地域の力を生かしたスクールサポート事業、西区の保育施設つながり事業)

【予算額 7,004千円(対前年度比 197千円増)】

西区は他区に比べ、出生数に占める第1子の割合や35歳以上で出産する人の割合、転入・転出者の割合が高いことを踏まえ、子育て家庭が地域で孤立することなく安心して子どもを産み育てられるよう、プレパママクラスや赤ちゃん教室などを実施し、地域とのつながりを大切にしながら子どもの健やかな育ちを応援します。

### (1) 西区子育て支援事業(4,714千円)【拡充】

#### ① プレパママクラス

妊娠7～9か月の妊婦とそのパートナーを対象に、妊娠・出産・子育てに関する基礎知識を学ぶ「プレパママクラス」を区役所および地域子育て支援拠点で開催します。参加ニーズの高い、沐浴・おむつ交換などの体験を行う講座や夫婦間のコミュニケーションに関する講義は、引き続き休日にも開催します。(区役所：年6回、地域子育て支援拠点(委託)：年6回)



プレパママクラス

#### ② パパクラス～プレパパとほやほやパパの会～

生後1～4か月未満の第一子と父親、妊娠7か月以降の初産婦のパートナーを対象に、こどもの成長発達や母親の産前産後の心身の変化について学び、父親同士の交流を行う「パパクラス」を、育休中の父親が参加しやすいよう、通年で昨年度から回数を増やして開催します。(年4回)



パパクラス

プレパママクラスやパパクラスにより、親になる前後の支援を充実させ、赤ちゃんの誕生を父母がともに安心して迎え入れ、一緒に子どもを育てることの大切さを学ぶ機会としていきます。

#### ③ これで抱っこがしたくなる！「ぎゅっトレ」

母子訪問や乳幼児健診などで、安全な抱っこの仕方や赤ちゃんとの外出の仕方が分からず、子育てに不安を感じているという相談が増えています。そのため、生後1～5か月未満の第一子とその家族を対象に、安全な抱っこの方法や抱っこ紐の使い方を学ぶ講座を開催します。(年6回)

講座では、乳幼児期に利用しやすい外出先などの情報提供も行い、教室終了後に親子で地域子育て支援拠点や子育てサロン等を訪れることができるよう支援します。また、子育て支援を行う機関等の紹介を行うことにより、子育てで困ったときに気軽に相談できる場所や人が身近に存在することを知ってもらい、不安や孤立感の軽減・解消につなげます。

#### ④ 赤ちゃん教室

0歳児とその家族や妊娠5か月以上の妊婦を対象に、子育てに関する情報交換や仲間づくりを目的に、地域の方の協力もいただきながら、区内9会場で実施します(年10回×9会場)。

様々なプログラム(歯みがき、離乳食、親子遊び、子どもの救急蘇生法と事故予防、防災)により、初めての子育てをサポートします。



赤ちゃん教室

### ⑤ 中学校いのちの教室

西区を主な通学区とする市立中学校（全5校）の中学生を対象に、専門職による性教育等を通じ、性に関する正確な知識と情報を提供するとともに、「命の大切さ」を伝えることを目的として、「中学校いのちの教室」を実施します。教室では、地域の子育て世帯との交流や妊婦体験などを取り入れ、中学生が「自分も大切な存在である」と実感し、今後の人生において主体的に意思決定する力を育むことを目指します。実施にあたっては、地域子育て支援拠点や主任児童委員、PTA等に協力を依頼し、地域の子育てサロン等を通じて中学生と子育て世帯との交流機会を創出します。中学生が、世代間交流を通じて多様な価値観に触れ、社会性を身につけるとともに、地域への愛着を深め、将来的な社会参加への意欲を高める機会としていきます。

### ⑥ その他の子育て支援の推進

子育て応援ガイドや保育施設等一覧の作成により子育て情報の発信・提供などを行います。また、「パマトコ」等を通じて、子育て世帯がより手軽に情報を得られるよう取り組んでいます。



表紙



中面（抜粋）

子育てガイド（西区子育て航海図）

### (2) 地域の力を生かしたスクールサポート事業(1,590千円)【拡充】

こどもたちの安全で健やかな日常の確保を目的として、小・中学生を対象に危機管理教室を実施するとともに、新小学1年生に防犯ブザーを配布します。危機管理教室では、SNSでのトラブル防止や低学年向けの連れ去り防止のプログラムに加え、こども同士の関わりの中で生じるトラブルへの対処法を学ぶプログラムを新たに導入します。

さらに、安全・安心で生き生きと過ごせる放課後の居場所の推進に向け、放課後キッズクラブや放課後児童クラブの職員を対象とした人材育成研修を実施します。



危機管理教室  
(連れ去り防止プログラム)



人材育成研修

### (3) 西区の保育施設つながり事業(700千円)

区内の子育て関連施設が連携して、各地区に出向き、育児講座を開催します。また、保育の質の更なる向上に向け、保育施設を対象とした研修を実施します。

さらに、西区唯一の市立保育所である南浅間保育園において、地域の親子に向けた子育て支援事業を実施します。



地域の親子に向けた育児支援の様子

# まちの回遊性向上とにぎわいづくり

## オ 地域連携推進・回遊性向上事業

(区政推進課)

【予算額 8,827千円(対前年度比 1,681千円増)】

区民・企業・団体の皆様と連携協働しながら、地域資源を活用した区内の回遊性向上を図るとともに、GREEN×EXPO 2027の開催や環境に配慮したライフスタイル等の機運を醸成します。また、地域で活動する様々な団体等と連携し、地域の主体的な取り組みを支援するとともに、身近な地域課題の解決に取り組みます。

### (1) 地域資源を活用した回遊性向上・まちづくり推進事業(4,795千円)【拡充】

にしく緑花サポーター制度の推進や、GREEN×EXPO 2027の機運醸成、横浜駅の美化・環境向上の推進、「温故知新のみち」を活用した区内の魅力資源の周知・発信及び都市計画マスタープラン西区プランの改定作業を進めます。

#### ① 地域資源を活用した花と緑のまちづくりの推進

「にしく緑花サポーター」登録団体等への花苗等の配布を通じて、花と緑のまちづくりを推進します。

また、「ガーデンネックレス横浜」事業と連携し区内の回遊性を高めるほか、脱炭素化の取組を加速化させていくためにも、GREEN×EXPO 2027の開催に向けて区内の機運醸成・来場意欲向上を図ります。

##### ■参考：にしく緑花サポーター

【開始年度】令和3年度

【対象】花壇等において緑化に取り組む区内の小中学校や公共施設等

【登録数】31か所(令和8年1月末時点)

〈内訳〉保育園、小・中学校：16か所

公共施設等：15か所



GREEN×EXPO 2027のPRの様子



にしく緑花サポーターを通じた花植えの様子

#### ② 横浜駅西口周辺での公民連携による美化・環境向上の推進【拡充】

GREEN×EXPO 2027に向け、来街者の増加が見込まれる横浜の玄関口である横浜駅周辺において、美化・環境向上に取り組みます。地域と事業者及び行政の協働で行っている「きれいなまちづくり検討会(※1)」が、より具体的な取組ができるよう必要な経費を支援します。

(※1)「きれいなまちづくり検討会」構成員：南幸自治会、横浜駅西口商店会連合会(横浜駅西口五番街商店会協同組合・横浜西口商和会商店街・西口幸栄商店会)、南幸安全安心まちづくり協議会、一般社団法人横浜西口エリアマネジメント、資源循環局、都市整備局、西区

#### ③ まち歩きルートの啓発等

まち歩きルート「温故知新のみち」(全3ルート)を活用し、区内の魅力資源を周知・発信し、区内の回遊性向上を図ります。また、区内に設置している案内サインについて維持管理を行います。



「温故知新のみち」散策マップ



総合案内サイン

#### ④ 都市計画マスタープラン西区プランの改定

令和7年に改定した都市計画マスタープラン全市プランをふまえ、区ごとに作成している区プランの改定作業を進めていきます。

■参考：改定スケジュール（予定）

令和8年度：素案作成・意見募集、令和9年度：素案公表・原案作成、令和10年度：策定

#### (2) 西区環境行動推進事業(3,070千円)

区民・企業・学校・行政の各主体が相互に連携・協力し、環境に配慮した具体的な行動の定着に向けた取組を実施します。

##### ① 環境行動推進の取組

脱炭素など環境に配慮した具体的な取組やSDGs達成に向けた取組を行うきっかけとして、若年層をターゲットとした参加型取組「にしくSDGsチャレンジ」(夏頃)等を実施します。

##### ② 区内におけるSDGs達成に向けた機運醸成

若い世代が中心となって区内の環境配慮行動やSDGs達成に向けた取組を進める機運醸成を図るため、区内企業・団体等と連携しながら、次世代が作成した、SDGsに関する作品のパネル展を開催します。

■参考：「にしくSDGsパネル展」(令和7年度)

【実施期間】令和8年1月8日～令和8年3月10日

【事業概要】西区の若い世代が作成した絵画などの作品を展示

【会場】市庁舎及び区内3会場にて巡回展示

【参加校】小学校7校 【作品数】42点



「にしくSDGsパネル展」チラシ

#### (3) 地域連携交流事業(962千円)【拡充】

「にこまちプラン」の推進に向けて、地域支援の拡充と地域人材の発掘・育成を図るため、地域活動の支援を行うほか、まちづくりアドバイザーを派遣します。

また、地域と行政間のコミュニケーション手段として、デジタルツールの試行的な活用を継続します。引き続き、包括連携協定を締結した神奈川大学との連携強化を図ります。

##### ① 地域活動の魅力を発信する動画制作

地域活動への理解と参加者の増加を目的に、横浜デザイン学院と連携し、西区内の地域活動紹介動画を制作します。制作した動画は、西区WebサイトやSNS等にて発信し、関心・興味を持ってもらえるよう、幅広く周知を行います。

##### ② 西区まちづくりアドバイザー派遣

地域が実施するまちづくり活動の企画・運営に対し、専門的な立場から助言を行い、地域の自主的活動を支援するために、まちづくりアドバイザーを派遣します。

##### ③ 地域と行政の情報共有プラットフォームの試行

主に自治会町内会と西区でデジタルツール(LINEWORKS等のアプリ)を活用した情報共有を行い、地域の負担軽減・連携強化を図ります。

##### ④ 神奈川大学との連携

神奈川大学との包括連携協定に基づき、地域の課題解決やSDGsの推進など新たな展開が創り出せるよう、具体的な取組についての協議を進めていきます。

■参考：神奈川大学との連携実績例

令和7年度：

①神奈川大学みなとみらいキャンパスホップ栽培プロジェクト(5月～12月)

②ヘルスサポーター養成を通じた地域をつなぐプロジェクト(11月)

③西区在住シニア層へのインタビュー実習にシニアを派遣協力(12月)



参考②ヘルスサポーターの養成(ヘルスメイトと学生で調理中)

## カ 商店街及び「まち」のにぎわい創出事業

(地域振興課)

【予算額 2,815千円(対前年度比 95千円減)】

商店街活性化と誘客促進を進めると同時に、周辺の地域資源の魅力情報を発信することで“まちのにぎわい”を創出します。

### (1) 西区商店街スタンプラリー事業(2,145千円)

商店街へ実際に足を運ぶきっかけづくりを目的とした「商店街を巡るスタンプラリー」を開催し、商店街への誘客促進を図り、併せて、まちの賑わい創出につなげます。

事業実施にあたっては、開催期間等を含め、西区商店街組合連合会と連携して進めます。

#### ■参考：令和7年度実施内容

事業名：西区商店街スタンプラリー  
実施期間：10月1日(水)～11月30日(日)  
対象店舗数：12商店会145店舗  
応募件数：2,170件(総スタンプ数：5,023個)

#### 【参加者からの主な声】

- ・いつもは通り過ぎてしまう商店街で初めて買い物をしました。また買い物に来たいです。
- ・スタンプを集めようと購買意欲が増えていつもよりたくさん買い物してしまいました！
- ・デジタルスタンプラリーは、手軽に楽しめて良かったです。

#### 【商店会からの主な声】

- ・商店街の賑わいづくりにつながっていると感じる。
- ・プレミアム商品券の期間と重なったことで、相乗効果により客足が伸びた。今後もぜひ引き続き実施してほしい。



スタンプラリー冊子(令和7年度)



デジタルスタンプラリー

〔専用アプリ不要。二次元コードからスタンプを獲得すると、応募可能。〕

### (2) 西区情報発信事業(670千円)

西区内の商店街の様々な魅力を市民目線で発掘・発信していただく機会として、フォトイベントを開催します。商店街にまつわる写真を募集し、撮影のために商店街を訪れる機会を増やすことで商店街の活性化を図り、まちの賑わいづくりにつなげます。

#### ■参考：令和7年度実施内容

事業名：西区商店街フォトコンテスト  
作品募集期間：8月1日(月)～9月30日(火)  
募集テーマ：「ここがおすすめ!! 西区商店街の魅力」  
応募作品数：215作品  
受賞作品数：最優秀賞ほか全10作品

うち、2作品は応募者が12歳以下の作品を対象とした「こどもゆうしゅうしょう」を設定。



西区商店街フォトコンテスト  
最優秀賞受賞作品(令和7年度)

【予算額 4,339千円(前年度同額)】

区民が様々なスポーツを体験する機会を創出し、各種競技への理解・関心を高めます。

また、インクルーシブスポーツへの理解を促進のための体験会の開催やウォーキングイベントの開催により、子どもから高齢者まで幅広い年齢層がスポーツを通じて地域に愛着を持つ機会を創出します。

(1) トップスポーツチームとの連携 (180千円)

横浜市のトップスポーツクラブと連携し、「区民DAY」の開催や小中学校等への出前授業を実施することで、区民へのプロスポーツを体験する機会を創出し、スポーツへの関心を高めます。

■参考：令和7年度実績

①区民DAYの開催

【横浜FC (サッカー)】

開催日：令和7年9月28日 (ニッパツ三ツ沢球技場)

来場者：542人 (全体来場者12,751人)

【横浜エクセレンス (バスケットボール)】

開催日：令和8年1月24日、25日 (横浜武道館)

来場者：312人 (全体来場者数：2,459人)

【横浜キャノンイーグルス (ラグビー)】

開催日：令和8年1月24日 (ニッパツ三ツ沢球技場)

来場者 (西区・青葉区合計)：1,762人

(全体来場者数：6,175人)

※横浜ビー・コルセアーズ区民DAY

令和8年5月開催 (横浜BUNTAI)

②出前講座の実施

【横浜ビー・コルセアーズ (バスケットボール)】

- ・南浅間保育園
- ・一本松小学校、平沼小学校、岡野中学校 (職業講話)
- ・東小学校、浅間台小学校 (バスケットボール教室)

【横浜エクセレンス (バスケットボール)】

- ・稲荷台小学校、宮谷小学校、一本松小学校  
(バスケットボール教室)



にし区民 DAY (横浜 FC)



©B-CORSAIRS  
横浜ビー・コルセアーズによる B.HOPE  
アクティブチャイルドプログラム  
(南浅間保育園)

## (2) インクルーシブスポーツの推進 (1,184千円)

インクルーシブスポーツ等の体験会を実施し、各種競技への関心や理解、競技団体等との交流を深める機会を創出します。

### ■参考：令和7年度実績

【開催日】令和7年11月2日 西前小学校体育館

【参加者数】1,132人（延べ人数）

（種目別参加者数）バグダー：440人

風船バレー：392人

車いすバスケットボール体験：142人

展示コーナー：158人

【協力団体】横浜市スポーツ協会、神奈川VANGUARDS、さわやかスポーツ普及委員、西区スポーツ協会、ラポール上大岡、横浜市バラスポーツ指導者協議会（バセル）、横浜市スポーツボランティアセンター、学校法人岩崎学園



車いすバスケットボール体験の様子

## (3) 西区ハマのウォーキングフェスティバル(2,200千円)

区民の健康づくりと西区の魅力再発見を目的として、「西区ハマのウォーキングフェスティバル実行委員会」の主催により、広く区民を対象とした第20回目のウォーキングフェスティバルを実施します。

### ■参考：第19回西区ハマのウォーキングフェスティバル

【開催日】令和7年11月30日

【参加者数】1,008人

【コース】東海道コース(約7.4km)

横浜道コース(約6km)



ゴール会場(臨港パーク)

## (4) 区民スポーツ振興事業、区青少年活動推進事業(775千円)

西区スポーツ協会、青少年育成団体等へ補助金を交付し、活動を支援します。

西土木事務所管理の10公園には藤棚が設けられているなど、区内には町名にも使われている「藤」の木が多く、西区の地域資産となっています。公園内にある藤棚については、再生に向けた適切な維持管理は継続しつつ、ご家庭等でも育てられる鉢植え藤（一才藤）に関する管理講習会を開催することで、区民の方に「藤」をより身近に感じてもらえるような取組を推進します。

また、西区では市街化の進展に伴い、区内に残された大規模な公園や緑地、身近にある公園という存在が、区民にとって緑を感じることでできる貴重な場となっています。花壇を有する区内の公園に対し、季節感のある花苗の提供や協働での植え付け作業を行うことで地域のつながりを形成しつつ、「公園のまちヨコハマ」を推進し、GREEN×EXPO 2027の機運醸成を図ります。

## (1) 藤の花再生・拡充の推進(2,500千円)【拡充】

### ① 公園藤棚の再生・維持管理

藤棚において、花を一面に咲かせるには適切な維持管理が必要で、中でもツルの誘引、花芽を意識した冬の剪定は開花に必要な重要な作業となります。土木事務所における日常的な藤棚の維持管理は継続しつつ、剪定等の藤の開花に重要な作業については、専門家による剪定の箇所数や回数を増やすなど、公園藤棚の再生を図っていきます。(通年)



藤棚冬季剪定の様子

### ② 専門家による鉢植え藤の管理講習会

より身近に藤を感じてもらえるよう、鉢植えでも生育が可能で、幼木のうちから開花する性質を持つ藤（一才藤）の普及啓発を図ります。

区民の方へ藤の魅力を伝えていくため、広報等も活用しつつ、藤の専門家による鉢植え藤の育て方・管理方法等について学ぶことができる講習会を開催します。(2月開催予定)

■参考：令和7年度講習会 2月19日開催  
定員10名（応募：25名）



鉢植え藤（一才藤）管理講習会

### ③ 藤に関連した取組の情報発信

令和元年度に発足した「藤の花再生プロジェクト」の取組に絡め、公園藤を含めた区内の藤棚スポットのPRやその他の藤に関連した取組について、X（旧Twitter）やホームページ等を活用して随時情報発信を行います。(通年)

## (2) 公園・施設等の緑化推進(3,300千円)

### ① 花苗・球根の購入・提供と花苗植えの協働実施

区内34公園において花苗や球根の提供を行いつつ、公園愛護会や地域の子どもたち等にも参加してもらう形で協働による花苗植えを行います。

また、季節の移り変わりを感じてもらえる花苗等の選定に加え、宿根草を組み合わせることで植替え時の手間や費用を抑える持続可能な取組としていきます。(年2回、34公園)



公園での花苗植えの様子

# 安全・安心なまちづくり

## ケ 西区 みんなでエコアクション！推進事業

(地域振興課)

【予算額 4,499千円(前年度比 648千円増)】

横浜市一般廃棄物処理基本計画に基づき、ごみの資源化・減量化啓発事業の実施や地域清掃の支援により、ごみの減量・3R意識の向上と地域美化の進展を引き続き目指していきます。

新たな処理基本計画「ヨコハマ プラ5.3 (ごみ) 計画」が策定され、脱炭素社会の実現に向け、令和7年4月からのプラスチックごみの分別ルール変更や使い捨てプラスチックの削減(リデュース)などに取り組み、身近な脱炭素への取組を各家庭で取り組んでいただけるよう、丁寧に呼びかけていきます。

また、対面を中心とした環境学習の実施や区民・企業等と連携した地域清掃活動を展開し、豊かな地球環境を次世代に残すため事業効果の最大化を図ります。

さらに、GREEN×EXPO 2027開催に向け首都圏有数のターミナルである横浜駅周辺地区をはじめとして、きれいな街づくりを推進し、美化・清掃活動を積極的に行います。

### (1) 環境に配慮した行動推進事業(1,165千円)

#### ① ごみの減量・リサイクルの推進、ごみの発生抑制、食品ロス・手つかず食品の削減、プラスチック削減

環境行動推進本部総会及び西区環境行動功労者表彰を実施し、3Rの推進に功労のあった個人又は団体に対し表彰を実施します。

■参考 R7年度 個人11名、団体3名



令和7年度 表彰式の様子

世界的な課題となっているプラスチック問題を幅広く関心を持ってもらうため、フードロス・プラスチック削減イベント時に環境負荷を抑えた製品やプラスチック代替素材を原料とした啓発物品を使用します。

企業と協働して実施する店頭啓発では、環境問題を身近な事を感じてもらうため、親子で楽しみながら学べるワークショップを開催します。

■参考 R7年度店頭啓発実施回数 6回(12月末)



プラスチックフリー啓発物品の例

デジタルサイネージを活用した啓発では企業と連携し、フードロス問題と防災を絡めるなど、区民の関心の高い内容で行うことにより、効果的な啓発を引き続き実施していきます。

■参考 無印良品 NEWoMan YOKOHAMA店



デジタルサイネージを活用した視認啓発の例

## ② 啓発や環境学習の推進

小学生を対象とした環境学習では(公財)横浜市資源循環公社と連携したリサイクル講座の実施。

講座では座学以外にも体験的要素を取り入れ関心をひくことで、児童のリサイクルに対する理解度を高めています。

分別ルールの変更なども取り入れ、子育て世代をターゲットに分別ルール変更の認知度向上にも取り組みます。

■参考 R7実施回数 7校



リサイクル講座（エコキャンドル作り）の様子  
（一本松小学校放課後キッズクラブ）

## (2) 清潔で美しい街づくり推進事業（3,334千円）【拡充】

### ① 地域清掃活動の支援

- ・自治会・町内会へ清掃用具の配布。(希望調書：4月、8月配布)
- ・区内の高校・企業と連携し、横浜駅西口周辺地区の清掃・組成調査を行う地域貢献清掃活動の支援。
- ・企業・団体等による清掃活動（WELCOME YOKOHAMA CLEAN SUPPORTER 令和7年12月末：85団体）の支援と、横浜駅周辺での大規模清掃活動「横浜駅をきれいに！」キャンペーンの他、区局が連携した行政による清掃活動を引き続き実施します。



横浜平沼高校生徒による清掃活動

### ② きれいな街づくりの推進

・地域・事業者・行政で立ち上げた検討会にて、地域課題の吸い上げや、ポイ捨ての多いエリア・時期に路面標示啓発や清掃委託を実施することで、街の美化・環境改善の拡充を図ります。

・GREEN×EXPO 2027に向け、多くの来街者で賑わう横浜駅西口のきれいな街づくりの推進のため、スマートごみ箱設置事業者へ補助金を交付し、支援を行います。

また、開催一年前を迎えるタイミングで、西区・中区合同主催による清掃イベントをみなとみらい周辺の美化推進重点地区で実施する予定です。(令和8年3月実施予定)

※スマートごみ箱とは、IoT (Internet of Things) 技術を活用した次世代型ごみ箱のことです。



クリスマス清掃イベント



スマートごみ箱「SmaGO」

## コ 地域防災活動推進事業

(総務課)(福祉保健課)

【予算額 13,035千円(対前年度比 7,250千円減)】

西区の「安全・安心なまちづくり」を進めるため、地域防災拠点への支援や関係機関と連携した区本部の防災訓練等を通じて、防災機能を強化します。

また、防災講話やイベント開催のほか、避難所案内板の設置や西区防災マップの更新等を通じて区民への啓発を進め、自助・共助の推進を図ります。

### (1) 地域防災拠点の機能強化(850千円)

#### 円滑な避難所運営及び多様な避難者対応への支援

発災時に地域防災拠点(以下、「拠点」)を円滑に運営できるよう、運営委員及び地域住民に対し、拠点訓練を通じて運営方法の理解を深め、体制の強化に努めます(実施回数：各拠点1～2回/年、実施時期：通年)。

また、拠点運営を支障なく行えるよう、資機材や備蓄品の適正な維持管理に努めます。

さらに、拠点において多様なニーズ(妊産婦・乳幼児、高齢者、障害者、外国人等)に対応できるように関係各課や団体等と連携した支援を行います。



老松中学校地域防災拠点訓練  
(令和7年度)

### (2) 区本部の防災機能強化(6,589千円)

#### ① 震災・風水害対策の強化

災害シミュレーション訓練を実施し、発災時における区本部機能を強化するとともに、区社会福祉協議会と連携した災害ボランティアセンターの設置訓練等を実施します。さらに帰宅困難者対策として帰宅困難者一時滞在施設と連携した訓練を実施します。

- ・風水害対策訓練(5月)
- ・震災対策訓練(9月)
- ・ボランティアセンター設置訓練(12月)
- ・帰宅困難者受け入れ訓練(時期未定)



震災対策本部訓練  
(令和7年度)

#### ② 災害医療対策の推進

区内医療機関・医療局との通信訓練(隔月)やのぼり旗掲出訓練(年3回)、医療救護隊巡回訓練及び医療救護隊検討会、区本部訓練等を通じて、発災時の対応力を強化します。

また、災害時における医療体制について区民向けの啓発を進め、携帯電話等災害時の通信手段の確保に取り組むとともに、災害医療連絡会議(3月予定)を通じて区内の関係機関・団体と連携し、課題や対応策について検討します。

### (3) 自助・共助の推進(5,596千円)【拡充】

#### ① 地盤品質判定士による崖地に関する無料相談会の実施

相談者の満足度が非常に高い、地盤品質判定士による崖地に関する無料相談会を引き続き実施し、民有地崖・擁壁の適切な維持管理の啓発を図ります。(6月)

■参考：令和7年度実績

参加者：6月22日(6組)、23日(6組) 計12組

アンケート結果：大変参考になった8組・参考になった4組



崖地相談会の様子(令和7年度)

#### ② 木造住宅密集地域における減災対策

感震ブレイカーの購入に係る補助事業を引き続き推進します。感震ブレイカーの認知度向上及び火災延焼対策としての有効性の理解促進を図るため、単位町内会への個別説明や、防災講話、イベントの機会を活用して関連部署と連携した啓発活動を行います。

また、老朽化した初期消火器具等の更新に係る補助事業を引き続き実施し、延焼火災対策を推進します。

■参考：過去3年の実績(令和7年12月末時点)

【感震ブレイカー補助実績】

・令和5年度：15個(2団体)

・令和6年度：174個(4団体)

・令和7年度：116個(4団体)

【初期消火器具更新実績】

・令和5年度：2基(2団体)

・令和6年度：1基(1団体)

・令和7年度：1基(1団体)

#### ③ 区民への防災・減災の普及啓発

新たな防災気象情報の運用開始等に伴い、西区防災マップの更新を行います。

また、地域住民への避難所種別や開設基準などの周知啓発を目的に、避難所の開設基準や開設状況を掲載した避難所案内板を小中学校(区内13校)に設置します。

さらに、消防、警察や企業等と連携した防災イベントの実施(10月)、赤ちゃん教室での防災講話(年9回)、子育て世帯への防災啓発グッズの配布(参考：令和8年1月末時点558個)、広報よこはま西区版で防災特集による啓発、次世代の防災の担い手となる小・中学生に向けたセミナーなど、あらゆる機会を捉え、幅広い世代に防災啓発を実施します。



防災イベントの様子(令和7年度)



子育て世帯への防災啓発グッズ(令和7年度)

## サ 安心して暮らせるまちづくり推進事業

(地域振興課)

【予算額 4,611千円(前年度比 1,116千円増)】

交通安全と防犯を一体的に推進し、地域と区役所、警察署や関係団体と連携してだれもが安心して暮らせるまちづくりを進めます。啓発活動は交通安全と防犯で連携して実施することで効率的に強化するとともに、防犯の視点では、より多くの方が参加できるよう見守り活動を新たに推進します。

### (1) 防犯意識啓発活動事業(1,600千円)【拡充】

#### ① 防犯情報提供及び意識啓発【拡充】

子育て世代、単身高齢世帯ごとの特性に応じた犯罪被害事例や対処法などを情報発信し、区民の防犯意識を高めます。既存の広報に加え、区役所の強みを生かしたチャンネル(乳幼児健診やふれあい会等)での情報発信を新たに実施することで、広報・啓発を強化します。

■参考：令和7年度実績

- ①広報よこはま西区版(5・7・1月号)
- ②タウンニュース(12月25日号)
- ③市営バス内デジタルサイネージ(2~3月予定)

【掲出場所】浅間町営業所、滝頭営業所(各30台)

#### ② 地域のつながりづくり促進【新規】

区民が愛犬との散歩時に、防犯パトロールの視点を持って地域を見守る”ながら見守り「西区トコパト」”を広め、地域の安心感を醸成します。

### (2) 交通安全推進事業(2,027千円)

交通ルールの周知や交通安全意識の向上を図るため、戸部警察署、戸部交通安全協会等と連携し、各季の交通安全運動のキャンペーンを実施します。基本的な交通ルールは継続して啓発するとともに、道路交通法改正など交通ルールの変更については積極的に情報発信を行います。

また、西区交通安全対策協議会功労者表彰を実施し、交通安全運動の推進に功労のあった個人又は団体に対し表彰を実施します。



▲横浜駅でのキャンペーンの様子



神奈川県交通安全対策協議会

▲自転車の違反へ反則金制度導入のチラシ

■参考：キャンペーン 令和7年度実績

- ①新都市プラザ(4・9・12月)
- ②サミットストア横浜岡野店(6・7・9・12・2(予定)月)
- ③区役所前(4・9月)
- ④TVKハウジングプラザ横浜(10月)

■参考：広報 令和7年度実績

- ①広報よこはま西区版(4・12月号)
- ②タウンニュース(2月号予定)
- ③市営バス内デジタルサイネージ(2~3月予定)

【掲出場所】浅間町営業所、滝頭営業所(各30台)

■参考：児童向け交通安全教室 令和7年度実績

①区内及び近隣小学校（全10校）

②親子交通安全教室（8月）

### (3) スクールゾーン対策事業(984千円)

区内及び近隣小学校（全10校）のスクールゾーン対策協議会へ、スクールゾーン対策協議会活動助成金を交付し、支援を行います。

また、スクールゾーン対策協議会からの要望に基づき、「スクールゾーン」路面標示等の設置・維持管理を行います。

### (3) GREEN×EXPO 2027に向けた横浜駅周辺での美化・環境向上の取組

横浜の玄関口である横浜駅は、GREEN×EXPO 2027の開催期間中には国内外から多くの方をお迎えします。GREEN×EXPO 2027に向け、地域・企業・団体の皆さまと連携して横浜駅とその周辺の美化・環境向上に取り組むとともに、開催機運を醸成します。

#### 区自主企画事業予算

横浜駅西口周辺の美化・環境向上施策に係る令和8年度の区自主企画事業予算を拡充・継続し、課横断的に取組を実施します。

##### 【取組例】

- ・きれいなまちづくり検討会活動支援金【8年度予算額 150万円（対前年比50万円増）】
- ・lotスマートごみ箱のごみ回収費用等補助【8年度予算額 100万円（前年度同額）】

#### 横浜駅西口周辺の公民連携による美化・環境向上

美化・環境向上の取組への支援	
【拡】きれいなまちづくり検討会活動支援金 150万円（区政推進課）	
ごみ・ネズミ対策	
【継】スマートごみ箱の運営支援 100万円	【拡】清掃委託（美化推進重点地区〔横浜駅周辺〕の歩道清掃）（資源循環局）
【継】スマートごみ箱用袋支給 40万円	
【新】ポイ捨て抑制路上啓発シール 25万円	
【継】繁忙期(12月)の清掃委託 5万円	【継】飲食店ネズミ対策（啓発チラシの配布、アンケート郵送、講習会の実施）16万円
【継】委託清掃に伴う廃棄物処理 19万円	
【継】美化推進員報奨金 26万円	（生活衛生課）
	（地域振興課）
路上喫煙対策	
【新】テナント型民間喫煙所運営費支援 200万円（資源循環局）	
【拡】路上喫煙対策（清掃、巡回指導の強化、マナー向上呼びかけ）	（資源循環局）
臭気対策	
【継】公共下水道の清掃（西土木）	
【継】民間地下排水槽の適切な管理指導、臭気対策の検討（西土木、生活衛生課）	

赤字が区で対応する事業。金額はR8年度予算案



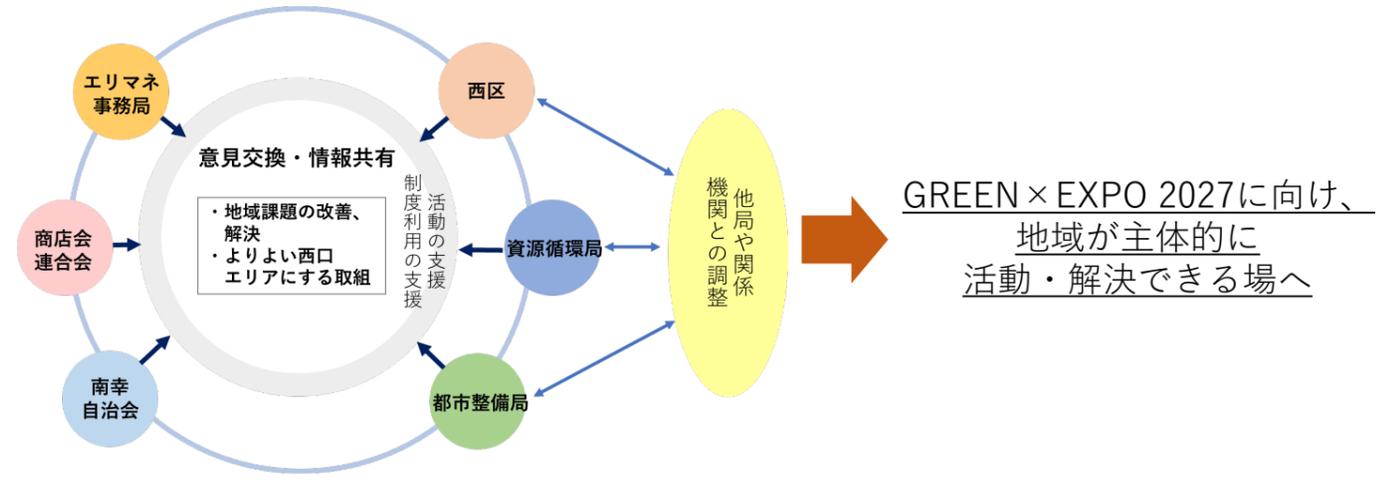
事業者、商店街、自治会・町内会、行政が連携した横浜西口クリーンアップリレー



ポイ捨て抑制の路上啓発シール

#### 【参考1】きれいなまちづくり検討会について

横浜駅西口周辺の商店街・自治会との意見交換の場として、令和5年度から年3回程度開催  
 ・事務局：西区 ・テーマ：清掃活動・喫煙対策・ポイ捨て対策・まちの美化など



#### 【参考2】SmaGO（IoTスマートごみ箱）

- ・設置台数：3か所合計6台
- ・場所：①Niigoひろば(R5.3～) ②相鉄ムービル前(R6.5～) ③CeeU Yokohama前(R6.5～)
- ・設置者：（一社）横浜西口エリアマネジメント

##### 【Niigoひろば回収量（R7.4～9）】

可燃ごみ636kg、ビン・缶590kg、ペットボトル414kg  
 設置前と比較し路上ごみが7割程度減少、ポイ捨て防止に寄与（横浜西口エリアマネジメント所感）



#### 【参考3】横浜駅西口における路上喫煙対策

横浜駅西口エリアの美化環境や分煙環境の向上、駅前の滞留空間や賑わいの創出に向けて、横浜駅みなみ西口喫煙所を移設するとともに、新たに民間運営の喫煙所を設置します。

##### ■横浜駅みなみ西口喫煙所の撤去【A】及び密閉型喫煙所の新設【B】

- ・住所：西区北幸1-8-1
- ・喫煙所面積：44㎡（定員36名）
- ・供用開始：令和8年3月末（予定）
- ・開所時間：7時～24時（調整中）
- ・紙巻き式と加熱式たばこのエリアを分けて整備
- ・設置者：フィリップモリスジャパン合同会社



喫煙所設置位置

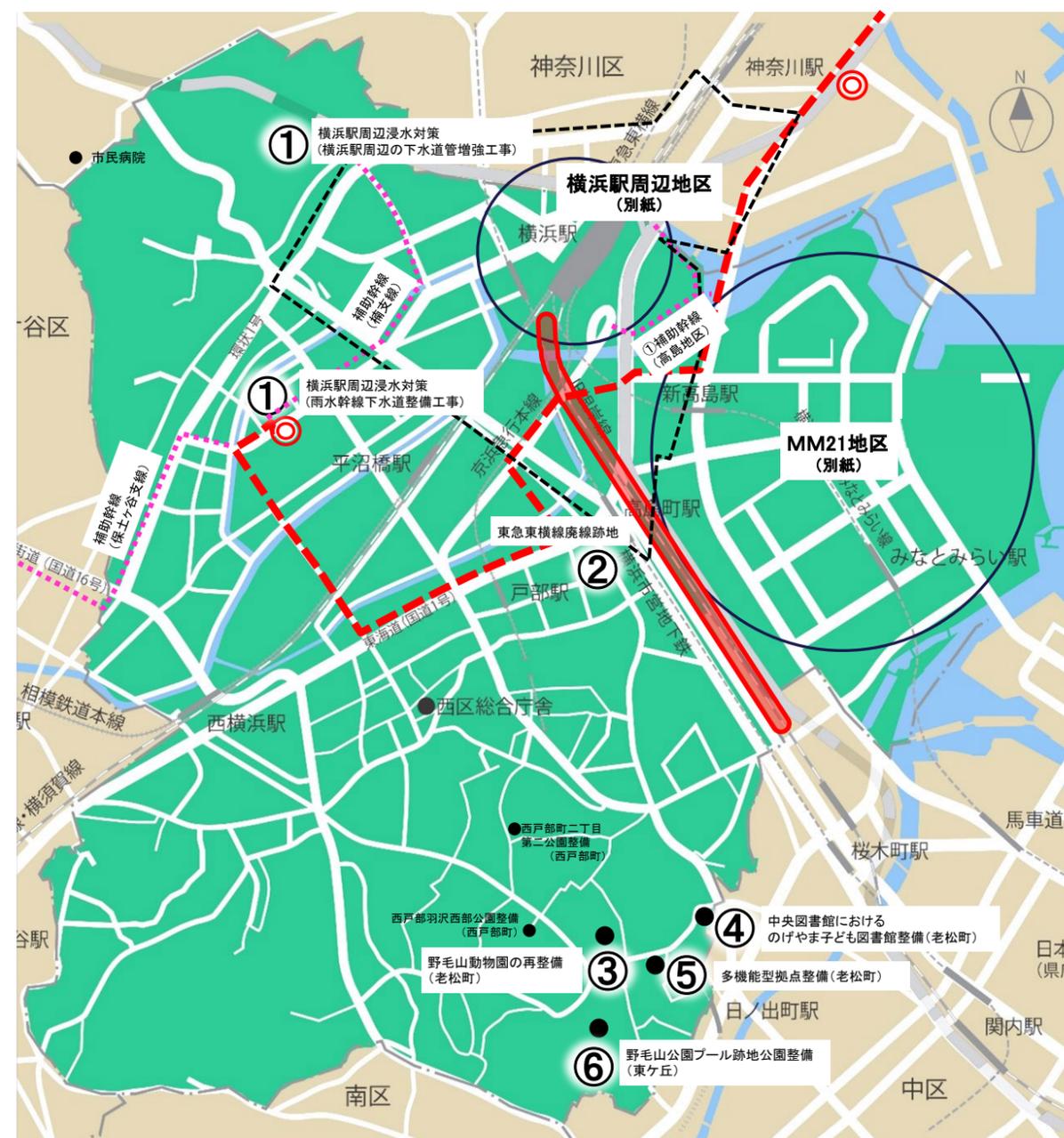
##### ■民間公衆喫煙所の新設【C】

- ・住所：西区南幸1-13-10 相鉄南幸第15ビル
- ・喫煙所面積：30㎡（定員25名）
- ・供用開始：令和8年3月（予定）
- ・開所日：週6日（水曜日閉所）
- ・開所時間：8時～23時
- ・喫煙所整備及び運営事業者：株式会社コソド

## 【参考】西区における開発動向等

地図	概要
①	<p><b>横浜駅周辺浸水対策</b>            神奈川処理区エキサイトよこはま龍宮橋雨水幹線下水道整備工事事業            横浜駅周辺では10年確率降雨(約60mm/1時間)に対する整備を行ってきましたが、さらなる治水安全度の向上に向け、30年確率降雨(82mm/1時間)に対応するため、新たに雨水幹線の整備を進めています。            岡野公園の野球場の一部に雨水幹線の立坑を設置する工事は令和7年8月に完成しました。令和5年12月着手した雨水幹線のシールド工事は、神奈川区の神奈川公園内のシールドマシンが発進するための立坑が完成し、令和7年9月の発進に際して、それを記念した式典を実施し、<u>岡野公園に向けて掘削を開始しています。</u>また、楠ポンプ場と岡野公園を結ぶ楠支線について令和8年度の発注に向け設計を進めています。引き続き工事を進め、供用開始は令和12(2030)年度を予定しています。            また、新たに整備する雨水幹線に横浜駅周辺の約140ヘクタールに降った雨を取り込むため、地域の雨水を排水している下水道管の増強などの工事を実施していきます。令和7年度から実施している事前調査として管きよの測量及び他企業の地下埋設物等の位置を確認するための試掘工事を引き続き実施します。7年度末から本格的な下水道工事に着手予定です。</p>
②	<p><b>東急東横線廃線跡地</b>            桜木町駅西口広場付近から紅葉坂交差点までの区間については、令和元年7月に供用開始しています。引き続き紅葉坂交差点付近から横浜駅方面の整備に向けた検討を行っていきます。            8年度は、補強等が困難な浅山橋交差点から高島町交差点までの構造物の撤去工事を進めるとともに、魅力ある歩行者空間を目指し路線の基本計画の見直しを進めています。</p>
③	<p><b>野毛山動物園の再整備</b>            野毛山動物園リニューアルの先行整備として、ふれあいコーナーへの屋根設置やなかよし広場の休憩所の建替え、園内トイレの改修等を行い、令和7年4月22日に供用開始しました。            引き続き、リニューアルプランに基づき、バリアフリーへの対応、老朽化対策、動物の飼育環境の改善など、更なる魅力向上に向けて取り組みます。</p>
④	<p><b>中央図書館におけるのげやま子ども図書館整備</b>            中央図書館1階を、親子連れや子どもたちが楽しく学べる、居心地の良い“子ども図書館”としてリニューアルします。また、誰もが使いやすい図書館となるようインクルーシブな環境づくりを進めます。            「おやこフロア」を令和7年4月22日にオープンしました。引き続き「こどもフロア」の整備を進めます。</p>
⑤	<p><b>多機能型拠点整備(旧青少年交流センター跡地)</b>            西区老松町の旧青少年交流センター跡地を市内5館目の多機能型拠点整備用地とし、令和7年9月から整備運営法人の公募・選定を行いました。12月に法人が確定し、令和8年度から設計に着手します。(令和10年度開所予定)</p>
⑥	<p><b>野毛山公園プール跡地公園整備(土地面積 約6,200㎡)</b>            プールは老朽化のため平成21年に解体され、跡地利用の検討・調整を行ってきましたが、隣接する野毛山公園の拡張部として整備を行うことが決定しました。            引き続き、周辺のまちづくりの動向をふまえ検討を行います。</p>

西区開発動向分布図



## 【参考】西区における開発動向等（横浜駅周辺地区）

令和7年12月末時点

### 横浜駅西口

**中央西口駅前広場**については、令和5年1月に屋根整備が完了しました。バスターミナル内の車道舗装を令和6年度から3か年で段階的に整備を進めており、令和7年6月にタクシーと一般車の交錯を解消し、歩道舗装の更新等を行う工事に着手しました。

令和7年5月には、「ヨコハマニグチOPEN PARK」を開催し、芝生やベンチにより憩いと賑わいの空間を創出しました。GREEN×EXPO 2027 開催に向けた駅前広場の完成を目指し、開催時に多くの来街者をお迎えする空間を創出します。

**きた西口駅前広場**については、令和7年11月に高欄整備が完了し、12月に植栽工事に着手しました。植栽整備完了後は舗装等の工事を進め、GREEN×EXPO 2027 開催に向けた駅前広場の完成を目指します。

### 横浜駅東口

**横浜駅みなみ東口地区**（ステーションオアシス地区の東側エリア）について、日本郵政不動産、JR東日本、京急電鉄を事業協力者として、令和6年6月に市街地再開発準備組合が設立され、組合において早期事業化に向けて、事業計画などの検討を進めています。現在、環境アセスメントの手続きを進めており、令和7年11月には方法書の縦覧と事業者による説明会が開催されました。

また、**出島地区**について、東口臨海地区連絡協議会を令和6年7月に再開し、中長期の視点での将来像の検討を進めています。これらに関連する施設として、駅前広場やデッキ、支線1号線等、東口全体の基盤整備計画について横浜市の中心となり検討を行っています。

令和7年11月より、駅から水際線へとつながる重要な結節点であるはまテラスにおいて、「にぎわい創出プロジェクト」を実施しており、芝生や光るファニチャ等により賑わいの空間を創出しています。

### 【進行中の事業】

①	<b>中央西口駅前広場</b> 令和元（2019）年7月 工事着手 令和5（2023）年1月 屋根完成 令和6（2024）年11月 車道舗装工事着手 令和7（2025）年6月 歩道舗装工事着手
②	<b>きた西口駅前広場</b> 令和元（2019）年7月 工事着手 令和6（2024）年9月 屋根完成 令和7（2025）年11月 高欄完成 12月 植栽整備工事着手
③	<b>横浜駅きた西口鶴屋地区（再開発ビル）</b> 事業者：横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発組合 階数・高さ：地上43階/地下2階、約178m 用途：住宅、ホテル、商業施設等 平成29（2017）年度 再開発組合設立 令和元（2019）年度 建築工事着手 令和5（2023）年度 再開発建物竣工 令和6（2024）年度 交通広場供用開始 令和7（2025）年度 事業完了予定
④	<b>横浜駅みなみ東口地区（ステーションオアシス）</b> 事業者：横浜駅みなみ東口地区市街地再開発準備組合 階数・高さ（予定）：地上45階/地下3階、約218m 用途（予定）：オフィス、商業、ホテル等 令和6（2024）年6月 市街地再開発準備組合設立 令和7（2025）年4月 環境アセスメント手続開始 令和10（2028）年度 工事着手（予定） 令和19（2037）年度 竣工（予定）

### 【その他の事業】

令和元（2019）年12月	西口地下街中央通路接続事業（馬の背解消）新設通路開通
令和2（2020）年3月	JR横浜タワー、JR横浜鶴屋町ビル竣工
8月	JR横浜駅改札内通路整備完了
令和6（2024）年7月	内海川跨線人道橋撤去工事完了



▲令和7年5月 ヨコハマニグチ OPEN PARK



▲令和7年11月～ はまテラス 賑わい創出プロジェクト

【参考】西区における開発動向等（みなとみらい21地区）

■建設中

<p><b>赤①</b> 19の一部：臨港パークの整備</p> <p>【先端部等の整備】                  事業主体：港湾局                  規模等：約9.8ha                  施設：砂浜、親水護岸、藻場・浅場                  歩行者デッキ                  園路、休憩設備、照明等                  スケジュール：                  令和5（2023）年度 先端部工事着手                  令和9（2027）年度 臨港パークとパシフィコ横浜を接続する歩行者デッキ供用予定</p>	<p><b>赤②</b> 52：みなとみらい21中央地区52街区開発事業計画</p> <p>事業主体：DKみなとみらい52街区特定目的会社                  株式会社光優                  規模等/高さ：地上29階、地下2階/約180m                  敷地/延床面積：約11,800㎡/約115,000㎡                  施設：オフィス、オープンインノベーションスペース、ゲームアートミュージアム、店舗等、道路横断デッキ                  スケジュール：令和6（2024）年2月 着工                  令和9（2027）年5月竣工予定</p>
---	---

■計画中

<p><b>青①</b> 62：（仮称）HARBOR EDGE PROJECT</p> <p>事業主体：ベルジャヤ横浜ホスピタリティアセット特定目的会社                  規模等/高さ：地上14階、地下1階/約60m                  敷地/延床面積：約22,000㎡/約88,500㎡                  施設：ホテル&amp;ホテルコンドミニウム、デジタル水族館、ミュージアム、店舗等、道路横断デッキ                  スケジュール：令和7（2025）年7月準備工事着手                  令和10（2028）年9月竣工予定</p>	<p><b>青②</b> 60・61：MM60・61プロジェクト</p> <p>事業主体：MM60・61特定目的会社※、学校法人岩崎学園                  ※(株)ケン・コーポレーション、SMFLみらいパートナーズ(株)、鹿島建設(株)で構成                  規模等/高さ：(東区画)地上26階、地下1階/約100m                  (西区画)地上13階、地下1階/約60m                  敷地面積：約23,000㎡                  延床面積：(東区画)約131,000㎡                  (西区画)約25,000㎡                  施設：(東区画)オフィス、ホテル、ミュージアム、商業施設                  (西区画)専門学校                  スケジュール：令和8（2026）年1月着工予定（西区画）、令和8（2026）年3月着工予定（東区画）                  令和10（2028）年7月竣工予定（西区画）、令和11（2029）年2月竣工予定（東区画）</p>
---	--

■竣工

<p><b>緑①</b> 60・61の一部-みなとみらい大通り：高島水際線デッキ整備</p> <p>事業主体：都市整備局                  規模等：幅員6.0m、橋長約130m                  着工：令和3（2021）年10月                  スケジュール：令和3（2021）年10月着工                  令和7（2025）年3月暫定開通                  令和8（2026）年度竣工予定</p>
---



赤色:建設中  
 青色:計画中  
 黄色:市有地(未利用)  
 緑色:竣工